

岩手県観光協会だより

教育旅行受入施設支援緊急対策事業実施中

物価高騰による価格転嫁が困難な教育旅行の受け入れに伴う負担を軽減

当協会から県に要望を行った教育旅行受入施設に対する負担軽減のための補助の要望を行い、県の補正予算において「教育旅行受入施設緊急対策事業」が予算化されました。

当協会では、本事業の申請等の業務を県から受託しています。

支給対象事業者は、旅館業

法に定める旅館営業、ホテル営業簡易宿所を行う施設です。

支給対象事業は、文部科学省が定める学習指導要領に基づき「遠足・集団宿泊的行事」又は「旅行・集団宿泊的行事」として行われる活動に伴う宿泊であり、支援金額は一人泊当たり千円を乗じた額とされています。(詳細は県HPを御覧ください。)

■編集・発行
(公財) 岩手県
観光協会
■発行責任者
鎌田 徳幸

上海便を歓迎 期間限定で運航再開



上海便運航再開記念セレモニーの様子

1月18日(土)、県等とともに花巻空港国際航空歓迎実行委員会が、約5年ぶりとなる中国東方航空による上海便の運航再開(期間限定)を記念し、いわて花巻空港で歓迎行事を実施しました。

県主催により、岩手・中国の関係者出席のもと記念セレモニーが開催された後、上海からの乗客123名を実行委員会会員がお出迎えしました。

お出迎えでは、簡体字で「歓迎光臨岩手県」と記された横断幕を掲げ、ノベルティグッズ等の配布やご当地ゆるキャラによるおもてなしを行い、賑やかに歓迎しました。

東観推進「日本東北遊楽日2025」に参加
12月6日(金) 18時

(日)、東北観光推進機構が主催する台湾での「日本東北遊楽日」に県等とともに参加しました。

6日には、今回から新たに設けられた台湾教育旅行の商

いわて冬旅CP2025

首都圏キャラバンに協力



川越駅でのキャラバンの様子

いわて観光キャンペーン推進協議会では、1月から3月までの3か月間、岩手県の冬季観光誘客促進を目的に「いわて冬旅キャンペーン2025」を展開されています。同キャンペーンを広くPRするため、1月10日(金)から12日(日)まで首都圏にて観光キャラバンを実施し、当協会も協力しました。

キャラバンでは首都圏メディアを訪問したほか、JR東日本主要駅である川越駅及び新宿駅でパンフレットやノベルティを配布しました。キャラバンには当協会のほか、沿岸の団体も協力し、同団体の職員が扮した北限の海女や「なもみ」が道行く人から好評を得ていました。

7日・8日は、台北市内の会場で岩手県もブースを出展し、観光案内、パンフレット配布、アンケート等を実施し



商談会の様子

談会に県内関係者とともに参加し、台湾の学校関係者への情報提供のほか、意見交換を行いました。

たほか、会場内では、現地の来場者と盛岡さん踊りが共演するなど、台湾の皆様が岩手の魅力を発信しました。

会場全体の来場者数は2日間で9・5万人を超え、岩手県ブースも大いに賑わいました。



岩手県ブースの様子

令和6年度第2回岩手県内DMO連絡調整会議開催

4つのテーマで分科会も開催

12月6日(金)、サンセー
ル盛岡で第2回岩手県内D
MO連絡調整会議を開催しま
した。第1回目は今年6月に
開催し、県内DMOの取組等
について情報共有を行ったと
ころです。第2回目の今回
は、この度初めて、個別テ
ーマに沿った専門分科会も開
催し、DMO間の連携も見据
え、意見交換を行いました。

会議には、当協会を含め、
観光庁に登録された10のD
MOと独自に組織した1団体
の合わせて11のDMOと、
20の市町村、観光協会がオ
ブザーバー参加しました。
全体会議では、観光庁観光
戦略課の河田敦弥課長より
「日本の観光の動向」、日本
政府観光局(JNTO)の茅
野慎吾氏より「フランスで取
組んでいる持続可能な観光」

について基調講演をいただき
ました。また、昨年9月24
日付けで新たに登録DMOし
て登録された(一社)大船渡
地域戦略様と(一社)しずく
いし観光協会様からそれぞれ
ご挨拶をいただきました。

DMO専門分科会では参加
者の皆様に「高付加価値コン
テンツの提供へ向けたローカ
ルガイド活用」、「いわての食
とツーリズム」、「データを活
用したDMOの戦略設計」、
「みちのく潮風トレイルを活
用した地域づくり」の4つの
テーマから2テーマを選択い
ただき、テーマに沿って意見
交換を行いました。

有意義だったとの回答をい
ただきました。専門分科会
は今回初の試みでしたが、
他の団体の取組状況等を知
る良い機会となったなら幸
いです。なお、令和7年度
も引き続き会議の開催を予
定しています。ご意見やご
要望ございましたら、当協
会までご連絡ください。



DMO 専門分科会の様子

令和6年度教育旅行誘致宣傳第2回幹事会開催

令和6年度教育旅行誘致宣
伝部会第2回が2月4日
(火)に開催されました。
当日は、令和6年度事業実施
状況や、令和7年度事業計画
案などが議題とされました。

令和7年度事業計画につ
いては、4月22日(火)に
マリオスで開催予定の総会
で正式に決定される予定で
す。
なお、令和7年度教育旅
行説明会の開催地および開

催地および開催日は次のと
おりです。

函館	8月5日(火)
札幌	8月6日(水)
東京	8月21日(木)
大阪	11月19日(水)

「おもり・いわて産市」 増玉・大畠に参加

1月25日(水)〜
26日(日)に増玉・大
宮駅で開催された「あ
おもり・いわて産直
市」に県等とともに参
加しました。
県内食産業事業者が
出店したほか、観光
PRブースにて、
冬旅キャンペーンの
PRやJR釜石
線周辺市町村の観光パ
ンフレットの配布等を行
いました。

また、「そばっち」が
青森県の「いくべえ」
と一緒にグリーティン
グを実施。多くのお客
様が足を止め写真撮影
を行ったほか、そばっ
ちのぬいぐるみストラ
ップを手に会いに来て
くれたお客様もおり、
会場は盛り上がりまし
た。



グリーティングの様子

専門家アドバイザーによる 「観光地域づくり」のヒント

「来訪者とともに描く地域の未来」
コロナ禍が明け、円安傾向も追い
風となり訪日インバウンド来訪者が
増加傾向にあります。一方で、日本国
内の来訪者受入側となる地域では、
人手不足や物価高騰等の影響を受
け、多くの課題が散見されています。
最近では、「レスポンスブル・ツーリ
ズム(責任ある観光)」という旅の姿
に注目しています。旅行者自身が、旅
行先の地域コミュニティや環境に与
える影響に責任をもち、旅行先に配
慮する考え方です。また、旅先で自身
が経験したことを経て行動変容が起
きることも期待されています。

ここで重要なのが、来訪者に対し
て地域の歴史・文化を紐解き、皆さん
が日々大切に行っていることを丁寧
にお伝えすることです。地域の深いス
トーリーに触れ、そのストーリーに
参加してみたいというニーズが、新
たな旅の形になっています。

岩手は知れば知るほど魅力あふれ
る地域ですが、失ってはいけない歴
史・文化をどのように未来へ繋ぐこ
とができるか悩ましい状況にもある
と日々感じています。旅は、来訪者へ
地域を伝え、共感を生み、行動を変
える手段となるもの。この旅のチカラ
を活用していくためにも、来訪者の
視点を入れながら、ストーリーの伝
え方を変化させることも大切です。
(岩手県観光協会専門家アドバイザー
― 畠山美帆(株JTB) ―)

研修動画公開

「おもてなし研修インバウンド英語編」

欧米豪等外国人観光客の対応を学ぶ「おもてなし研修インバウンド英語編」の研修動画・テキストを作成しました。ホームページ「いわての旅」の「賛助会員のお知らせ」から視聴・閲覧できます。（2025年1月8日賛助会員限定で公開中）
<https://iwatetabi.jp/supportmembers/>

みちのく潮風トレイルの観光ガイドとしても活動している講師で、米国出身のウィリアム・クインラン・フェリス氏の講演は必見です。皆様の都合の良い時に、学ぶことができますので、是非受講ください。

令和6年度
おもてなし研修
インバウンド英語編

Inbound Promoter / Guide
Quinlan F.

英語編のオープニング画像

エージェント招待事業実施

冬季の沿岸地域誘客を促進

沿岸地域への冬期間における観光客誘致拡大を図るため、三陸海岸魚彩王国実行委員会と連携し、3月11日（火）～13日（木）、（株）阪急交通社3名、クラブツーリズム（株）3名の担当者招待し、沿岸の観光地や観光施設の視察を行いました。三日間にわたり、久慈市から陸前高田市まで、途中、三陸鉄道の乗車もしつつ、観光施設等を視察し、宮古市の「グリーンピア三陸みやこ」と大槌町の「三陸花ホテルはまぎく」では地域の観光関係者との意見交換



田老の学ぶ防災ガイド視察の様子



意見交換会の様子

各旅行代理店の担当者の反応も良好で、今後の旅行商品造成に向けて積極的な対応が期待されます。

韓国チャーター便を歓迎

3月20日（木・祝）に花巻空港国際航空歓迎実行委員会が、今年度2回目となる韓国チャーター便運航を記念し、いわて花巻空港で歓迎行事を実施しました。

韓国青洲からの乗客約60名（航空会社エアロK）には、ハングルの横断幕を掲げ、ノベルティグッズ等配布やご当地ゆるキャラによるお出迎えを行い、搭乗客と写真撮影するなど、賑やかに歓迎しました。



歓迎対応の様子

なお、同日のいわて花巻空港発韓国青洲行には、約150人の方が搭乗し、岩手から韓国に飛び立ちました。

「みちのくトレイルクラブ」と意見交換

2月12日（水）、第2回岩手県内DMO連絡調整会議の、みちのく潮風トレイル分科会での議論を踏まえ、県等とともに、宮城県名取市の名取トレイルセンターを訪れ、4県にまたがるみちのく潮風トレイルの運営を行う認定NPO法人みちのくトレイルクラブとの意見交換を行いました。

分科会で提起された各地域間での統一感については、みちのくトレイルクラブ側から「タペストリー」の掲出やトレイルエンジェル等の呼称など、各地域で独自に行っている活動につ



ては、統一感を出すことよりも、地域ごとに違いがあることもひとつの面白さではないかと感じている。これまで統一されていなくてもハイカーから特に分かりにくいといった声はない。ロングトレイルという文化は、地域の人たちがそれぞれハイカーに関わっていくことが、持続可能性を高めると思う。」との御意見を

みちのくトレイルクラブの相澤久美（あいざわくみ）事務局長などから頂きました。

司法修習生が選択型実務実習を履修

11月から12月にかけて司法修習生の研修を受け入れました。将来、弁護士を目指している女性で（盛岡市内の弁護士事務所にて研修中）民間での5日間の研修が必要とのことから、岩手県観光協会を研修先として選ばれたものです。当協会を希望した理由は、インバウンドが増加の一途を辿る中で、旅行の安全確保や日常的に発生する法律問題等への対応について学ぶため、将来は観光業に密接に関わる業務に携わりたいとのこと。また、そぼっちの大会ファンでもあったそうです。

現場における生の声を聞いてもらいたく、観光客が多く訪れる「いわて・盛岡広域観光センター」、観光客からの相談に対応する「全国旅行業協会岩手県支部」等を訪問しての意見交換や、季節感あふれる観光素材の取材・SNSでの発信等にも取り組んでもらいました。

修習生からは、とても多くのことを学べた、との感想をいただきました。当協会としても、観光業と司法との関わりを考えるよい機会となりました。

第2回賛助会員全協議会及び第5回理事会開催

3月7日、サンセール盛岡を会場に、賛助会員・役員合わせて約60名の出席をいただき、第2回賛助会員全協議会が開催されました。

また、3月18日には第5回理事会が開催され、令和7年度事業計画・収支予算について説明し、承認いただきました。

なお、ホームページ「いわての旅」の「賛助会員のお知らせ」に全員協議会議案書等配付資料を掲載しております。

（2025年3月4日賛助会員限定で公開中）
<https://iwatetabi.jp/supportmembers>



第2回賛助会員全協議会の様子

新採用嘱託職員等の紹介

1月27日付で、新採用嘱託職員として高橋志穂（たかはし しほ）さんが、派遣臨時職員として山岸美智子（やまぎし みちこ）さんが当協会に加わりました。

高橋さんは、主に観光案内相談を担当し、山岸さんは教育旅行受入施設支援緊急対策事業を担当します。

二人から賛助会員の皆様に御挨拶です。

【高橋さん】

毎日様々なお問合せをいただいておりますが、岩手の魅力をもっとお伝えできるように、観光の知識を深

めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

【山岸さん】

この度、教育旅行受入施設支援緊急対策事業の受付担当をさせていただけております。申請に関しまして分からないことがございましたらお気軽にお問い合わせください。よろしくお願いいたします。



左：高橋さん 右：山岸さん

大船渡「ギャツセンエリアプラットフォーム」

防災まちづくり大賞総務大臣賞受賞

大船渡市内の官民で構成する「ギャツセンエリアプラットフォーム」によるスマホゲーム「防災×観光アドベンチャー「あの日」制作及び防災学習プログラムの開発が、総務省消防庁第29回「防災まちづくり大賞」において、最優秀賞にあたる総務大臣賞を受賞しました。

同団体は、今回の受賞を励みに、防災学習プログラムの普及啓発に努め、東日本大震災による津波の記憶がない次



表彰式の様子

★賛助会員募集

当協会では、広く賛助会員を募集しています。会員の特典としては、①「会員の皆様の情報を協会ホームページにおいて優先的に紹介、PR」、②「協会の作成した観光資料を無料で提供」、③「協会主催の研修会、セミナー及びキャンペーン等への参加」、④「国や県及び各種観光団体等からの各種情報の提供」、⑤「当協会における協賛及び後援や各種相談」などがあります。

現在、賛助会員は市町村及び市町村観光協会をはじめ、各業界団体や民間事業者等が加入しております。

会員の皆様におかれましては、未加入の団体・事業者様に対する勧誘についての御協力をお願いいたします。

◆会員区分

市町村は第一種賛助会員、市町村観光協会は第二種賛助会員、その他の団体及び事業者は第三種賛助会員となります。

◆会費額（年額）

第三種賛助会員 5口5万円を原則として口数制で算出します。※口数については、事業者種別・規模等に応じて別途算出します。

◆入会についてのお問合せ

当協会まで御連絡願います。
 電話…019・651・062